

ことばの教室だより

乙女小学校 ことばの教室
令和5年12月

12月

日に日に寒くなりますが、澄んだ夜空に輝く星が、一層きれいに見える季節がやってきました。ことばの教室からは、黄色く色づいたイチヨウの木がとてもきれいに見えます。校庭の木々たちが秋の装いに衣替えをしたかと思ったら、もう冬支度。季節の流れの早さを実感します。2学期も残すところあとわずかとなりました。児童と一緒に、できるようになったことの振り返りやまとめをしていきたいと思えます。学期末を元気に迎えられよう、健康に留意してお過ごしくください。

12月の行事予定

7日(木) 午前休室(校内持久走記録会)

※雨天時は、通常通り通級あります。

8日(金) 校内持久走記録会予備日

(予備日に持久走大会を実施した場合には、午前中休室です。)

13日(水) 午前・休室(出張のため)

22日(金) 2学期通級最終日

* 出張や再検査のため通級の時間が休室になることがあります。

* 第3学期は、1月11日(木)より指導を始めます。なお、1月から来入児の早期相談が始まるため、休室になることもあります。



【2学期の学習の様子より】

2学期は、運動会やたんぽぽ祭、校外学習などの行事が多い季節でした。フリートークの時間に行事で頑張ったことや体験したことなどについて、児童から話を聞く機会がありました。「6年生のソーランがかっこよかった。」「大玉で負けて悔しかった。」など、それぞれが感じたことを話してくれました。

1学期には、何を話そうか悩んだり、止まったりする児童もいましたが、最近では、すっかり慣れ、休日に過ごした様子や学習で頑張っていることなどをたくさん話せる児童が増えました。また、話す内容を整理して話せるように、話し方の話型(いつ・どこで・だれと・何を・どうした・思ったこと)をヒントとして提示しています。12月は対話の中で、2学期の頑張りを振り返ることができるように声をかけていきたいと思えます。

【冬休みに向けて】

冬休みは日本の伝統的な文化に触れる貴重な時期です。それぞれのご家庭で、日本の風習や習わしを味わいながら、よい新年をお迎えください。新学期に、冬休みの出来事を聞くこと、話すことでコミュニケーション能力の向上を図りたいと思います。

授業の中で、季節の行事を振り返る場面があり、児童から質問があった行事について、豆知識をいくつか下記にまとめてみました。



和の行事の豆知識

【冬至とは】

1年で1ばん昼が短く、夜が長い日で、次の日からは、少しずつ昼の時間が長くなっていきます。むかしから「冬至」は「太陽がよみがえる日」だと信じられていました。「太陽の力が弱くなる時、人間の魂^{たましい}もおとろえる」と考えていたようです。「冬至をすぎれば太陽はよみがえり、人間の魂にも精気もどってくる」とされました。そこで、この季節に旬のかぼちゃやあずきなどを食べて力を回復し、冬至をのりこえようとした習慣が今も残っているのです。

【ゆず湯】

もっとも寒さが厳しくなるこの季節、ゆずをうかべたお風呂に入って、あたたまれば、風邪をひかないといわれてきました。

【お年玉の由来と意味】

年神さまにお供えした餅を、神さまからのおくりものとして、子どもたちに分けあたえたことが、はじまりです。今では、小さな祝儀袋にお金をいれます。「年玉」には、「年神さまの魂^{たましい}」という意味があります。

参考：『「和」の行事えほん②秋と冬の巻』より、一部抜粋

他校通級の方へのお願い

●指導日・時間に、欠席・遅刻される場合は、ことばの教室に必ずご連絡ください。

Tel 45 - 4551(ことばの教室直通)

指導中など電話に出られない時もあります。その時は、お手数でも乙女小にかけ直してお伝えください。

Tel 45 - 4114(乙女小)

